

120mm マシンガン

M-120AS

運用 MS

- ・ MS-06D ZAKU DESERT TYPE

武器解説

M-120AS は、ジオン公国軍が砂漠地帯での戦闘の為に開発したモビルスーツ用マシンガンだ。抜群の信頼性を誇るベストセラー機 ZMC38III / M-120A1 の基本構造はそのままに、砂漠地帯での使用を前程にしたスペック変更を実施したモデルである。外見上の特徴としては、原型モデルである ZMC38III / M-120A1 をショーティ化した点が挙げられる。これは、砂漠での長期間無補給戦闘を想定した、携行弾数の増大に対応する為である。それに伴いバレル(銃身)の短縮、フォーリング・ストックへの換装ならびに光学サイトが廃止される事となった。また、作動への砂塵の影響を排除する為、機関部のクリアランスが設計許容範囲限界まで広げられている。こうした改修により M-120AS の命中精度は著しく低下する事になったが、基本的には有視界での戦闘が前提となるモビルスーツ戦では、遠射性能や命中精度よりも、目の前の敵に確実に銃弾を叩き込む信頼性がより重視されたのである。

備考

M-120AS の信頼性の高さは郡を抜いていた為、ベテランのモビルスーツパイロットの中には砂漠戦以外の戦場でも、この M-120AS を好んで使う者がいた。

参考

- ・ U.C.ARMS GALLERY